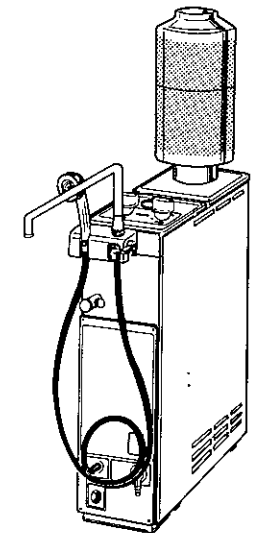


ナショナル シャワー上り湯付 ガスふろがま

品番 〈LPガス用〉 〈都市ガス用〉
GF-35C(P) ・ GF-35C(G)

取扱説明書

(工事説明書別添)



型式名 〈LPガス用〉 〈都市ガス用〉
 TH-CS701 TH-CS701(G)

正しく使って上手に節約

■この説明書と別添の「工事説明書」・「保証書」をよお読みのうえ、正しくご使用ください。そのあと大切に保管し、わからないときは再読してください。

保証書別添 保証書は必ず「販売店名・ご購入日」等の記入を確かめて、販売店からお受取りください。

便利メモ おぼえのため、記入されると便利です。

ご購入年月日	年	月	日	品番
ご購入店名				
	電話	()		—
最寄りの ご相談窓口				
	電話	()		—



松下電器産業株式会社
 松下住設機器株式会社ガス機器事業部
 〒639-11 奈良県大和郡山市筒井町800番地
 電話 大和郡山 (07435) - 6 - 1 1 2 1 (大代表)

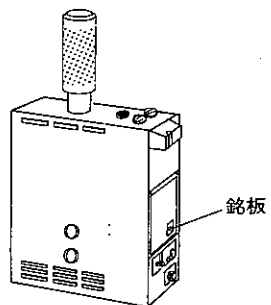
Y0984-0

目 次	ページ
特に注意していただきたいこと	1
各部の名称	3
使用方法	4
凍結防止について	8
安全装置が作動したときの措置方法	10
日常の点検・手入れ	11
故障・異常の見分け方と処置方法	12
仕様	13
長期間使用しない場合	14
アフターサービス	14

特に注意していただきたいこと

■使用ガスについてのご注意

器体(銘板)に表示してあるガス(ガスグループ)以外のガスでは使用しないでください。



〔注〕この部分を必ずご確認ください。

【LPガス用銘板】 【都市ガス用銘板】

GF-35C(P)		GF-35C(G)	
ガスふろがま		ガスバーナー付ふろがま	
型式名	TH-CS701	型式名	TH-CS701(G)
記号名	TH-CS701(P)用LPガス用	記号名	都市ガス用
ガス消費量	最大 1.08 k8/h ふろ 0.98 k8/h	ガス消費量	最大 1.08 k8/h ふろ 0.98 k8/h
TH		TH	
松下住設機器株式会社 松下電器産業株式会社		松下住設機器株式会社 松下電器産業株式会社	

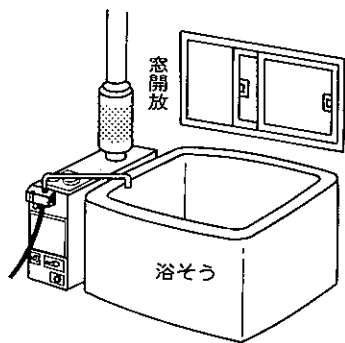
ガスの種類	LPガス			
都市ガス(ガスグループ)		4A・4B・4C	5A・5AN・5B・5C	6A・6B・6C・7C
		11A・12A・13A		

■用途についてのご注意

シャワー・洗面などの給湯およびふろの沸き上げ、追い焚き以外の用途には使用しないでください。

■使用場所についてのご注意

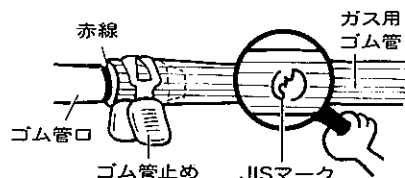
- 壁・その他の可燃物から十分離して使用してください。
- 屋内(浴室)に器具を設置する場合、換気(給気、排気)が十分できるようにして使用してください。詳しくは工事説明書6ページの「排気筒の設置」をお読みください。



■使用上のご注意

(1) ガス漏れ予防

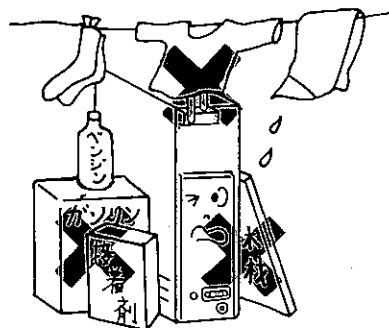
- ゴム管はガス用ゴム管(JISマーク、または年号の入っているもの)を使用し、ビニル管は絶対に使用しないでください。(ビニル管は弾力性がなく熱にも弱いです)
- ゴム管はゴム管口の赤線まで差し込み、ゴム管止めでしっかり止めてください。



- ゴム管の継ぎたしや二又分岐は行なわないでください。

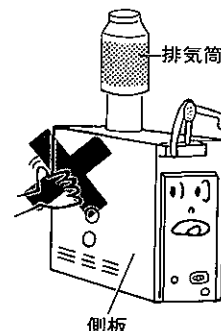
(2) 火災予防

器具の上や周囲には燃えやすいものを置かないでください。特に、排気口は洗たく物などでおおわないでください。



(3) 火傷にご注意

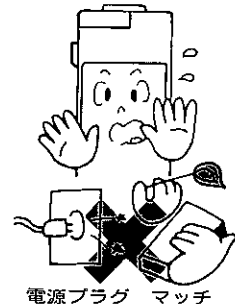
使用中および消火直後は、側板や排気筒が高温になっていますので、絶対に手を触れないでください。



(4) ガス事故防止

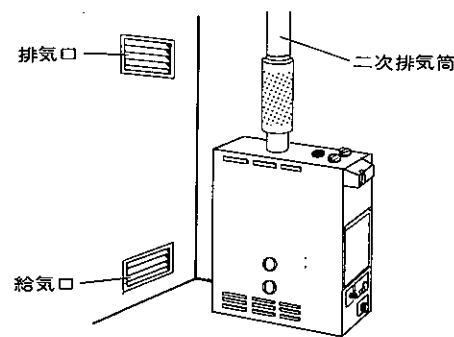
ガス漏れに気づいたときは、すぐ使用をやめてガス元せんおよび器具せんつまみを閉め、お求めの販売店かガス会社に連絡してください。

〔注〕万一ガスが漏れたときは、絶対に火をつけたり、電源プラグの抜き差しや、近くの電気器具のスイッチの「入・切」をしないでください。



(5) 換気のご注意

- ふろがまを屋内に設置する場合、必ず換気口(給気口・排気口)および二次排気筒を取り付けてください。
- 換気口(給気口・排気口)の周りを物などでふさがないようにください。



(6) 異常時の処置

万一、異常をおこしたときや、緊急の場合には、あわてずに器具せんつまみとガス元せんを閉めて、お求めの販売店かガス会社に連絡してください。

(7) 過熱防止

- ふろがまで沸かすときには、浴そうに水が入っていることを確かめてから点火してください。
- 浴そうの循環口はタオルなどでふさがないようにしてください。

(8) 健浴剤や洗剤についてのご注意

硫黄・酸・アルカリを含んだ健浴剤や洗剤は熱交換器が腐食する原因になりますので、使用しないでください。

(9) 市販の補助用具使用についてのご注意

- この器具用の付属品・補助用具以外は使用しないでください。(不完全燃焼などの原因になります)
- 市販の湯ざめ防止器、または簡易シャワーセットなどを取り付けて使用しないでください。(器具の異常過熱などの原因になります)

(10) 使用後の処置

- 使用後は、必ず器具せんつまみを「止」の位置いっぱいにもどし、消火したことを確かめてください。また就寝時や外出の際には、ガス元せんは必ず閉めてください。

(11) 凍結についてのご注意

- 冬期は、寒冷地だけでなく、暖かい地方でも急な寒波のため器具内の水が凍って、器具を破損することがあります。詳しくは、8~9ページの「凍結防止について」をお読みください。
- 冬期にふろがまをご使用の場合ふろがま内の湯がさめて凍結し、異常をおこすことがありますので、浴そうの湯は使用したその日のうちに抜いてください。

(12) 器具内に長時間たまった水は飲用または調理に用いないでください。

特に注意していただきたいこと

(13) その他

- ふろがまが水びたしになると、不完全燃焼をおこしたり故障の原因になりますので、水びたしになった状態では絶対に使用しないでください。また、ふろがまに多量の水をかけないでください。
- 水圧が0.8kg/cm以上ない場所では、シャワーを最適に使うことが出来ませんので水圧が低いと思われるときは、お求めの販売店にご相談ください。

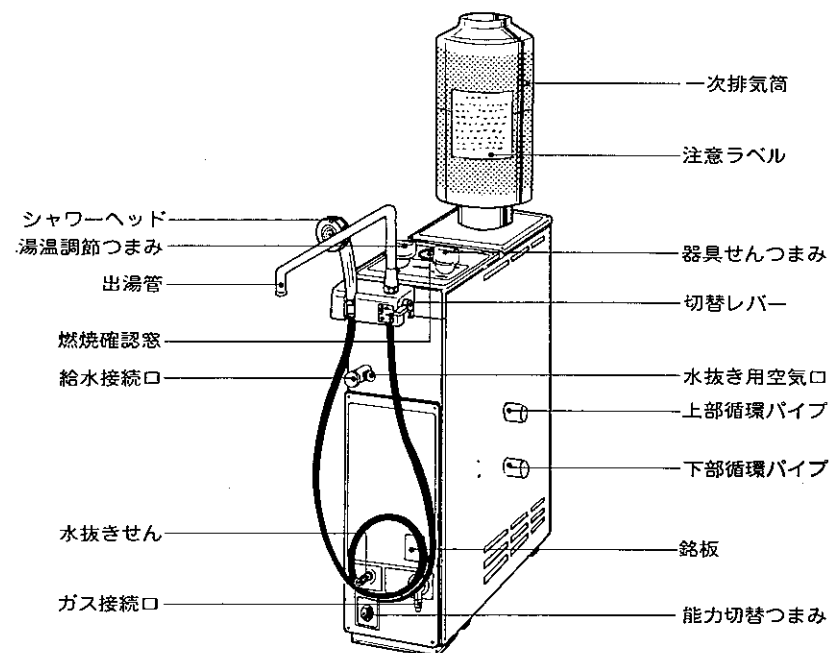
■ 日常の点検・手入れ

- 日常の点検・手入れは、必ず行なってください。(詳しくは11ページをお読みください)
- 故障または破損したと思われる場合は、お求めの販売店にご相談ください。不完全な修理は危険です。

■ 器具の設置について

- (詳しくは工事説明書をお読みください)
- 器具の設置はお求めの販売店に依頼してください。
 - 安全な位置に正しく設置されているか確認してください。

各部の名称

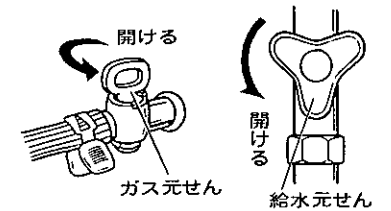


[注] 上図は右接続タイプです。他に循環パイプが反対側に出る左接続タイプもあります。

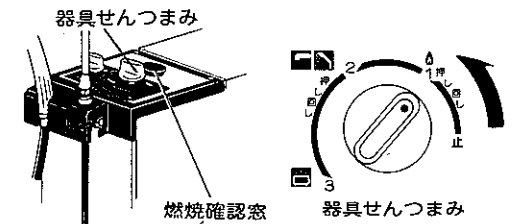
使用方法

■ 点火のしかた

- (1)ガス元せんと、給水元せんにをいっばいに開けてください。
- (2)器具せんつまみを押して「止」から「1」まで押し回してください。

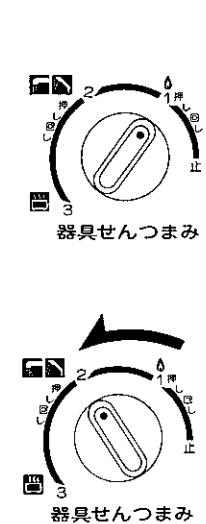


- (3)燃焼確認窓から点火を確かめ、器具せんつまみを5~10秒間押し続けて、さらに強く押ししたあと手を離してください。



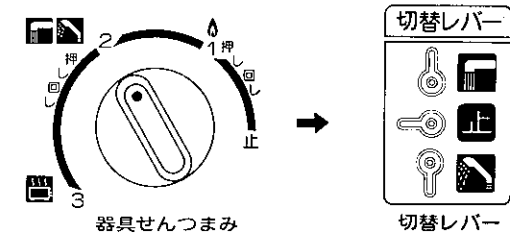
〔ご注意〕 点火していない状態で器具せんつまみを長く押し続けると、器具の中に生ガスがたまり、この状態で再点火操作を行ないますと、爆発的に点火することがありますので、30秒間以上放置したあと、(2)~(3)の操作で行なってください。

- (4)手を離してもパイロットバーナーが点火していることを確かめ「1」から「2」まで押さずに回してください。
- 消えた時は(2)からやり直してください。



■ 給湯・シャワーの使い方

- 給湯するときは、点火後に切替レバーを☐の位置に合わせると出湯管より湯が出ます。
- シャワーを使うときは、切替レバーを▲の位置に合わせるとシャワーより湯が出ます。



〔ご注意〕 次のようなときは、すぐに器具せんつまみを「止」の位置までもどし、必ず約15分の間をおいたのち再点火してください。

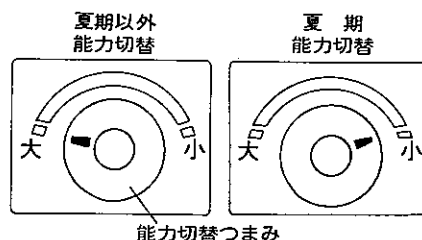
- ①使用中に火が消えたとき。
- ②切替レバーを開けたときや、器具せんつまみを「風呂」の位置まで回してもメインバーナーに火がつかないとき。

使用方法

〔ご注意〕「風呂」を長時間使用したあとでシャワーを使用しますと、はじめに熱い湯が出ますので、出はじめの湯は絶対に身体に当てないで、湯温が安定してから使用してください。

■ 給湯・シャワーの湯温調節のしかた

- 水温が高い場合(夏期)は能力切替つまみを「小」に合わせ、それ以外の場合は「大」に合わせてください。



- 湯温調節つまみで湯温を調節してください。
 - 右に回すと湯量が少なくなり、熱い湯に。
 - 左に回すと湯量が多くなり、ぬるい湯になります。

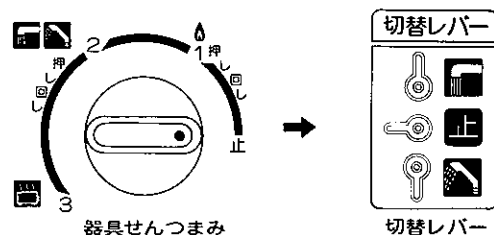


〔注〕必ず湯温を確かめ、湯温が安定してから(特にシャワー使用の場合)使用してください。

■ 冷水シャワーの使い方

夏期など冷水シャワーをお使いになりたいときは、次の方法で操作してください。

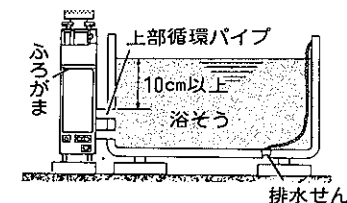
- 器具せんつまみを「止」のままにし、切替レバーを



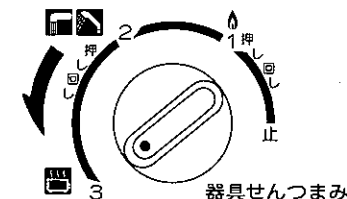
■ 「風呂」の沸かし方

- このふろがまは、主として追いだき用に適した能力となっていますので、浴そうにまず出湯管から適温にして給湯してください。
- 浴そう内の湯が冷めたときは追いだきをしてください。
- 水を張ってから沸き上げる場合は、時間が長かかります。

- (1) 浴そうの排水せんがきちんと入っているか、浴そうに水(湯)が十分に張ってあるかを確認してから使用してください。
(上部循環パイプの上端より10cm以上張ってください。)



- (2) 「風呂」を沸かす(追いだきする)ときには、点火後に器具せんつまみを押して「2」から「3」まで回してください。



〔ご注意〕「2」から「3」に回してもメインバーナーがつかないようなときは、すぐに器具せんつまみ「止」の位置までもどし、必ず約15分をおいたのち、再点火してください。

〔ご注意〕水(湯)が少ないと、空だき安全装置が作動してガスを止めますが、空だきは器具の寿命をいちじるしく短くしたり、浴そうをいためますので、必ず水(湯)が十分に入っていること(上部循環パイプの上部より10cm以上)を確かめて操作してください。

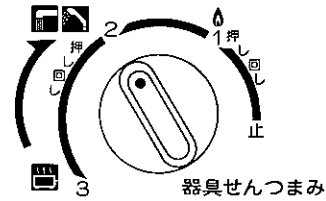
- 「風呂」を沸かしながら(追いだき)、同時に給湯またはシャワーは使えません。

使用方法

■ 消火のしかた

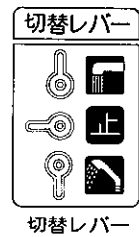
● 「風呂」の消火

器具せんつまみを押し、「3」から「2」まで押し回してください。



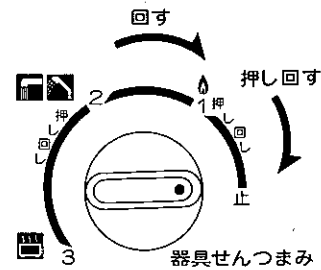
● 給湯・シャワーの消火

切替レバーを ㊦ の位置に合わせる。



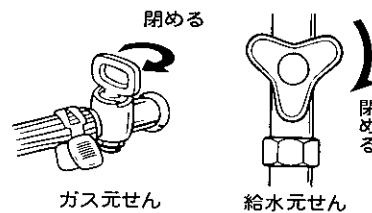
● パイロットバーナーの消火

器具せんつまみを「2」から「1」まで回し、次に器具せんつまみを押し「止」まで回してください。



● ガスと給水元せんを閉めてください。

特に外出時と就寝前には確かめてください。



凍結防止について (暖かい地域でご使用のお客様も必ずお読みください)



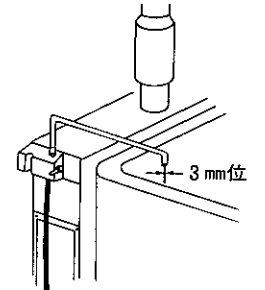
●凍結すると器具や給湯配管が破損して、水漏れをおこしたり、器具が異常(空だきなど)をおこす危険性があります。

●凍結による修理は有料です。

凍結防止方法

① 給湯せんから水を流す方法

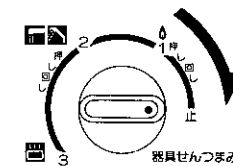
●ガス元せんを閉め、器具せんつまみを「止」にして、切替レバーを ㊦ の位置へ回し、1分間に約200cc(牛乳びん1本ぐらい)の水を浴そうに流し込んでください。



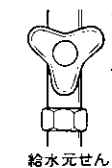
② 水抜きによる方法

次の順序で行なってください。

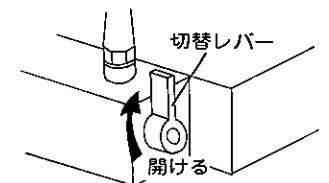
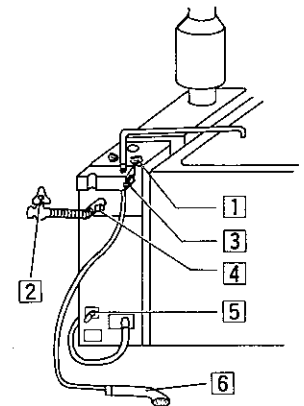
(1) 器具せんつまみ ㊦ を「止」にする。



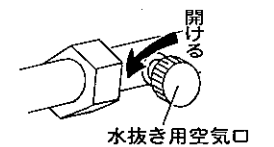
(2) 給水元せん ㊦ をしっかり閉める。



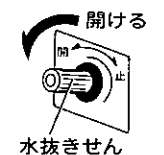
(3) 切替レバー ㊦ を ㊦ の位置に合せる。



(4) 水抜き用空気口 ㊦ を開ける。



(5) 水抜きせん ㊦ を開ける。



(6) シャワーヘッド ㊦ を床面まで下げ、ホース内の水を抜いてください。

●次にお使いになるまでこのままにしておいてください。

凍結防止について

〈水抜き後の使用方法〉

- (1) 氷抜きせん⑤をしっかりと閉める。
- (2) 水抜き用空気口④をしっかりと閉める。
- (3) 切替レバー③を❶の位置に合す。
- (4) 給水元せん②を開け、切替レバーを❷の位置に合せ、出湯管より水が出ることを確認したのち、切替レバーを❸の位置に合せる。
- (5) 4ページの「使用方法」に従ってお使いください。

■凍結したとき

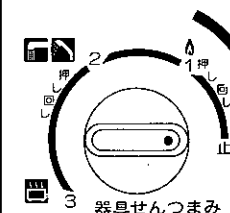
- 凍結した場合ガス元せん、給水元せんを閉めてください。
凍結したまま使われますと器具に異常が生じる場合があります。
- 凍結がとけたあと、水漏れがないのを確認のうえご使用ください。
- 器具や配管が破損しますと、高額な修理費用がかかる場合があります。(有償)

安全装置が作動したときの措置方法

■処置について

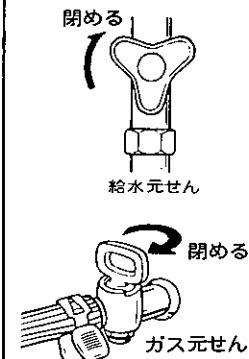
- 点火しなかったり、ご使用中にメインバーナーが消火したときは、下記の方法および12ページの「故障・異常の見分け方と処置方法」に従ってください。また、次の安全装置が働いた場合には、ガス元せんを閉めてからお求めの販売店に連絡してください。

1. 器具せんつまみを「止」の位置に合せる。



器具せんつまみ

2. 給水元せん、ガス元せんを閉める。



給水元せん
ガス元せん

3. お求めの販売店へ...



連絡

■パイロット安全装置

- 使用中、万一パイロットバーナー(たね火)の炎が風などで消えた場合や、ガスの供給が止ったときは、パイロット安全装置が働いて自動的にガスが止まります(約1分後)ので、そのままでは使用できません。
- パイロットバーナー(たね火)の消火に気づいたときは、すぐに器具せんつまみを「止」の位置までいっぱいにもどしてください。
- 再点火されるときは、器具内に残ったガスが十分排出されるのを待ってから(約15分後)注意して点火操作を行なってください。
〔注〕すぐに点火操作しますと爆発着火するおそれがありますので危険です。

■空だき安全装置(風呂)

- 排水せんなどからの水漏れなどにより、万一ふろがまを空だきしたときは、空だき安全装置がふろがまの温度上昇を感知してバーナーに通じるガスの通路をしゃ断し、バーナーを消火します。再点火されるときは、ふろがまが自然に冷えるのを待ってから浴そうの排水せんを確実に閉め、水を上部循環口上端より10cm以上入れて再点火してください。

■過圧逃し弁

- 器具内の水圧が異常に上昇したときに作動し、器具内の圧力を下げて、器具の損傷を防止します。

■過熱防止装置

- 万一器具が異常温度上昇したときはガスを自動的に停止します。

日常の点検・手入れ

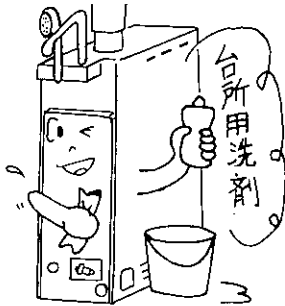
点検・手入れの前には、必ずガス元せんを開め、器具が冷えてから行ってください。

■点検

- 器具よりガス漏れ・水漏れはありませんか。
(ガス漏れは、配管接続部に石けん水などをつけて調べてください)
- 使用中に、器具から異常音が聞こえませんか。
- 器具の外観に異常は見られませんか。
- 器具のまわりに燃えやすいものはありますか。
- ゴム管が古くなってひび割れしたり、器具に触れたり、器具の下を通したり、折れたりしていませんか。

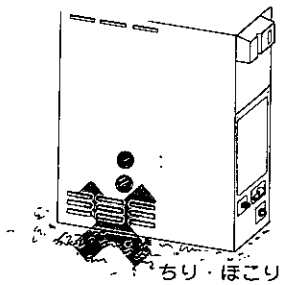
■お手入れ

●器具の表面が汚れたときは、布またはスポンジに台所用洗剤(中性洗剤)をつけてふき取ってください。シンナー・ベンジンなどではふかないでください。



●空気取入口のお手入れ

ふろがまの下・周囲などにちり・ほこりなどがたまらないよう、ときどき掃除してください。



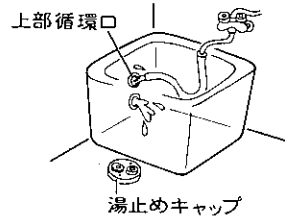
●燃焼確認窓や天板などのお手入れ

燃焼確認窓や天板などの汚れは、水にぬらした雑巾などでふき取ってください。
●シンナーやベンジンなどの使用は避けてください。
●器具に直接水をかけて洗わないでください。

●ふろ用熱交換器のお手入れ

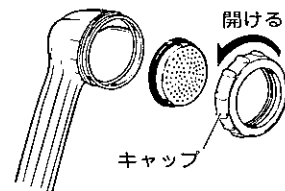
上部循環口の湯止めキャップをはずし、水道のホースの先を上下交互に入れ、水を勢いよく出して、熱交換器内を洗ってください。

(熱交換器内には使用中の湯あかが付着します。半年に1回程度お手入れを行ってください。)



●シャワーヘッドのお手入れ

シャワーをお使いになっていて、湯が出にくくなったり、メインバーナーに火がつかなくなったときは、シャワーヘッドにごみが詰まっていることがありますので、キャップを手で回して取りはずし、掃除してください。



■定期点検のおすすめ

ご使用上支障がない場合でも、不慮の事故を防ぎ、安心してより長くご使用いただくために、定期点検を年に1~2回、お求めの販売店にご相談ください。

故障・異常の見分け方と処置方法

現象	原因										処置方法	参照ページ
	パイロットバーナーに点火しない	パイロットバーナーが保持しない、または器具せんつまみから手を離すと消火する	メインバーナーに着火しない、しじみ	使用中に消火する	異常な音をたてて燃える	高温で着火するが、低温では着火しない	かま鳴りがする	ガスのおいがする	お湯を止めても消火しない	給湯せんつまみ、シャワーせんつまみを開けても湯が出ない		
ガス元せんが閉まっている	*										ガス元せんを開ける	4
ゴム管のつぶれ、折れ、曲がり	*		*	*							ゴム管のつぶれ、折れ、曲がりをなおす	1
ガスが無い(LPガス用)	*		*	*							販売店に連絡する	—
ガス圧が適切でない	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	販売店・ガス会社に依頼する	—
器具せんつまみの開き不足	*	*	*								全開にする	4
点火装置の故障	*										販売店に依頼する	—
使用ガスと器具の銘板が不一致	*		*	*	*		*				販売店に連絡する	1
ガス管の中に空気が残っている	*										点火操作を繰り返す	4
器具せんの故障	*	*					*	*			販売店に依頼する	—
器具せんつまみの保持不足	*	*									十分に保持する	4
パイロット安全装置の故障	*		*								販売店に相談する	—
空だき安全装置の故障	*		*									
過熱防止装置の作動	*		*									
ふろがまの水びたし	*		*	*			*					
排気筒の詰まり							*					
接続部品の内に物が詰まっている							*					
ふろがま本体が傾いている							*				販売店に依頼する	—
ゴム管のひび割れ、穴あき							*				新しいゴム管と交換する	1
ゴム管の抜け、接続不完全							*				ゴム管の接続を確実にする	1
ガス元せんの損傷							*				販売店・ガス会社に連絡する	—
給湯元せんが閉まっている								*			全開にする	4
断水している								*			他の給湯せんを開けて確かめる	—
水圧が適切でない							*				販売店に依頼する	—
水フィルターの詰まり							*					
凍結している								*			解凍まで使用を中止する	8-9

仕様

品名	シャワー上り湯付ガスふろがま							
品番	GF-35C							
本体外形装	ステンレス製							
種類	排気筒式ガスふろがま							
点火方式	圧電点火装置、空気早抜き装置つき							
水圧	使用水圧	給湯：0.5kg/cm ² 以上、シャワー：0.8kg/cm ² 以上						
	作動水圧	0.5kg/cm ²						
外形寸法	高さ1024mm×幅175mm×奥行588mm							
重量	18kg							
循環管取付口径	φ45mm(外径)							
給水接続	15A(PT1/2)							
排気筒径	φ100mm(内径)							
基準浴そう	容量：200ℓ～300ℓ(1～2人用)							
安全装置	パイロット安全装置・空だき安全装置・過熱防止装置 過圧逃し弁							
付属部品	接続部品A(1コ)・接続部品B(1コ)・接続バンド(2コ) 一次排気筒(1コ)・出湯管(1コ)・シャワーセット(1セット)							
使用ガス 使用ガスグループ	型式の呼び	1時間当たりのガス消費量 (kcal/h)				出湯能力(ℓ/min) [水圧：1kg/cm ²]		ガス接続口
		「風呂」	給湯		大			
			大	小	水温+ 25℃上昇	水温+ 40℃上昇		
都市ガス用	4 A	6,000kcal/h	10,000kcal/h	5,400kcal/h	5.5	3.4	φ13mm ガス用ゴム管 (1/2TU接続可能)	
	4 B	6,100kcal/h	10,100kcal/h	5,500kcal/h	5.5	3.4		
	4 C	6,400kcal/h	11,000kcal/h	5,800kcal/h	5.8	3.6		
	5 A	7,700kcal/h	11,700kcal/h	5,000kcal/h	6.2	3.7		
	5 A N	7,100kcal/h	11,000kcal/h	4,700kcal/h	5.8	3.6		
	5 B	7,600kcal/h	11,600kcal/h	5,000kcal/h	6.2	3.8		
	5 C	7,000kcal/h	12,000kcal/h	6,700kcal/h	6.3	3.9		
	6 A	7,000kcal/h	13,000kcal/h	6,500kcal/h	7.2	4.3		
	6 B	7,000kcal/h	12,500kcal/h	6,500kcal/h	6.8	4.0		
	6 C	7,000kcal/h	13,000kcal/h	6,000kcal/h	7.2	4.3		
	7 C	7,000kcal/h	13,000kcal/h	6,000kcal/h	7.2	4.3		
1 1 A	6,200kcal/h	11,400kcal/h	5,700kcal/h	6.0	3.7			
1 2 A	6,600kcal/h	12,200kcal/h	6,000kcal/h	6.4	4.0			
1 3 A	7,000kcal/h	13,000kcal/h	6,500kcal/h	7.2	4.3			
L P ガス用	TH-CS701	0.58kg/h	1.08kg/h	0.56kg/h	7.2	4.3	φ9.5mm ガス用ゴム管 (1/2TU接続可能)	

長期間使用しない場合

長期間使用しない場合は、必ずガス元せん、給水元せんを閉め、水抜きを行なってください。
(水抜きをしないと、冬期は凍結により器具の破損の恐れがあります)

アフターサービス

(1) 保証書(別に添付してあります)

保証書は、必ず「販売店名・購入日」等の記入を確かめて、販売店から受取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

保証期間 — ご購入日から1年間です。

(2) 修理を依頼される時

12ページの「故障・異常の見分け方と処置方法」に従ってお調べになり、直らないときは、必ずガス元せんを閉めて、後の処置をしてください。

●保証期間中は
お求めの販売店にご連絡ください。保証書の規定に従って販売店が修理致します。

連絡していただきたい内容

- ご住所・ご氏名・電話番号
- 製品名・品番・ご購入日
- 故障 又は異常の内容
(できるだけ詳しく)
- 訪問ご希望日

●保証期間が過ぎているときは
お求めの販売店にまずご相談ください。
修理すればじゅうぶん使えるときには、ご希望により有料で修理致します。

(3) 補修用性能部品の最低保有期間

ガスふろがまの補修用性能部品の最低保有期間は製造打切り後7年です。この期間は通商産業省の指導によるものです。
性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

(4) ガスの種類の異なる地域へ転居される時

ガスの種類は、LPガス、都市ガス(都市ガスには14種類あります)があります。ガスの種類が異なる地区へ転居される場合には、改造・調整が必要です。この改造・調整に伴う費用は保証期間内でありましても有料です。

(5) アフターサービス等についてわからない時

お求めの販売店又は、最寄りのご相談窓口(別紙一覧表参照)にお問合わせください。